



Data

監督：アンディ・テナント

出演：シャーリー・マクレーン/ジ
 エシカ・ラング/デミ・ムー
 ア/ビリー・コノリー/ハワ
 ード・ヘッセン/ジェイ・ヘ
 イデン/サンティアゴ・セグ
 ラ

■■■ショートコメント■■■

◆同じ日に、末期癌を宣告された男とその家を訪れた古い友人との濃密な4日間を描いたスペイン・アルゼンチン映画である『しあわせな人生の選択』（15年）と、素敵な遺産を巡って2人の高齢の女性が繰り広げるコメディタッチの本作の2本を鑑賞。前者はしみみりさせるいい映画だったが、本作は保険金詐欺すれすれ(?)の行為に及んだ2人の女がカナリア諸島で繰り広げるバカンス三昧を描くもので、2人の女は元気印そのものだ。

しかも、『しあわせな人生の選択』（15年）は女っ気ゼロの映画だったが、何とこちらには80歳代のエヴァ（シャーリー・マクレーン）が、ちょっと怪しげだが、中年の伊達男、ルーシー・チャンドラー（ビリー・コノリー）と良い雰囲気になるばかりか、60歳代のマディ（ジェシカ・ラング）は若いハンサムな男、チップ（ジェイ・ヘイデン）とすっかりベッドインまで・・・!いやはや何とも・・・

◆私は長年保険会社の顧問弁護士として、交通事故はもちろん、生命保険を巡る法的争いに関与してきた。しかし、5万ドルの保険金を、誤って500万ドル振り込んだと言う例は聞いた事がない。しかし、本作を見ていると、アメリカでは本当にそんな例も・・・。

もつとも、そんな場合、数字の間違いに気付いた保険金受取人がしゃあしゃあと500万ドルを受け取ることはなく、保険会社に連絡し、間違いを訂正して大事に至らないはずだが、さて本作では・・・?

◆本作冒頭は、夫に先立たれた妻エヴァの葬儀に出席した40年来の親友マディが異常に嘆き悲しむシーンから始まるが、それは一体なぜ・・・? 『しあわせな人生の選択』では2人の男の年齢が概ね推定できたが、本作ではエヴァもマディも年齢がよく分からないところがミソ。500万ドルの保険金を現金化して、カナリア諸島のバカンスに出かける2人の高齢女性のド派手な服装を見ていると、まるで化物みたい・・・?

さらに、超豪華なホテルのプールで貿易商と名乗る素敵な中年男ルーシー・チャンドラ

一と出会うストーリーや、カジノでの大胆な賭けっぴりと大儲け振り（これこそビギナーズラックの典型？）を見ていると、2人の女の大胆さにただただ圧倒される。

しかし、金額の間違いに気付いた保険会社の調査員であるアルバン・ヴェスプッチ（ハワード・ヘッセン）が、エヴァの娘・クリスタル（デミ・ムーア）と共にホテルまで保険金の回収のためにやって来ると、たちまち2人の女は神妙な面持ちに・・・？

◆2人が逮捕され保険金詐欺の裁判が開始されれば、その事件は、現在日本で裁判員裁判が始まっている笥千佐子被告の青酸化合物が使われた連続変死事件と同じように世間の注目を集める大事件になるはず。しかし、本作は邦題が『素敵な遺産相続』とされているようにあくまでコメディで、公式サイトでも「“素敵な”遺産が、悲しみよりも笑顔をくれた♪」が売りの映画だ。

したがって、エヴァとマディは、カジノで儲けた大金の有効活用（？）を含むベテラン弁護士顔負けの交渉術によって、あれこれと「我が道」を切り開いていくから、その活気に注目！『しあわせな人生の選択』に見た、2人の男の静かな幕引きとは大違いだ。

◆自称、貿易商の男、チャンドラーが実は詐欺師だったことは、彼の雰囲気から見て想定内の範囲内だが、その後、彼が島一番の大金持ちでワイン商の男ドン・カルロスの下で働いており、しかも彼がそこで働いているのは借金の返済のためであることが明らかになると、アレレ・・・。こりゃ少し、話を広げすぎでは・・・？

他方、保険会社の調査員アルバンはいかにも生真面目で堅物のイメージだが、実はこちらも・・・？本作は、後半からラストにかけては、あっと驚くドタバタ喜劇的な展開になっていくので、それに注目！

それにしても、エヴァが元保険会社の調査員アルバン、娘のクリスタルと共にカナリア諸島を再び訪れることになるのがマディとチップとの結婚式に参加するためとは、いやはや、なんとも能天気・・・？

2017（平成29）年7月14日記